

紙版 ハコブネ×ブックス vol. 6

<https://hakobune.wp-x.jp>

ハコブネ×ブックスは児童文学作品・YA作品を未来に語り継ぐwebサイトです。



あたらしい図鑑

作者 長園安浩
出版社 ゴブリン書房
発行 2008年6月
ISBN 978-4902257137

review



『ネッシーはいることにする』
2019年7月、10年以上の歳月を
経て本書の続編が刊行されました。
実に豪華で充実した後日譚です。

野球少年の中学一年生、純は、怪
我が治療で訪れた病院で、詩人の
村田周平と出会います。かつて教
科書にもその詩が採用されていた
という**著名な無頼派の詩人**も既に
八十歳。191センチの巨体を誇る
外国映画のギャングのような詩
人は、ごくフラットに年少の友人
である純に接してくれました。詩
人の家を訪れた純は、彼の構想ノ
ートを見せてもらい、これまで知
らなかった詩や文学の世界に遭遇
します。訳のわからない現代詩の
表現の宇宙に圧倒される少年のお
のき。想像したこともない彼岸
に直面して、文学の世界に落ちて
いくスポーツ少年の**詩の目覚め**。
しかし、この物語にもまたタイム
リミットがあります。ナチュラル
で無自覚な**世界音痴の迷子**である
二人の**同志**、少年とかつての少年
が出会う物語の魅力が大いに発揮
された作品です。

ガッチャ!

Notes from the midnight driver.

作者 ジョーダン・ソーネンブリック
翻訳者 池内恵
出版社 主婦の友社
発行 2008年1月
ISBN 978-4072578971



十六歳の普通の高校生アレックス
が深夜に無免許の暴走行為に及んだ
のは理由があります。両親の離婚
と家庭崩壊によって心が乱れ、現状
から逃避したかったのです。無謀運
転の代償として課せられたのは、**施
設で老人の介護をする**百時間のボラ
ンティア。アレックスが担当するの
は、**偏屈で横柄な老ミュージシャン**
のソル。憎まれ口を叩きあいながら
も、次第に二人の間には信頼関係が
育っていきます。アレックスは、ソ
ルの心の痛みを知り、ソルもまたア
レックスとガールフレンドとの関係
をやきもきしながら見守っていた
り、荒っぽい言葉の応酬の中にもあ
たたかさが溢れている。高校でジ
ヤズバンドに入っているアレックス
とソルには音楽も心の架け橋となり
ます。アレックスが弟子としてソル
の**大切な魂を受け継いでいく**、ウイ
ットに富んだクールな物語です。

核家族で暮らす都会の
少年たちと過去を背負い
生きる孤独な老人のひと
夏の邂逅を描く、あの代
表的児童文学作品もこの
ジャンルです。老人との
出会いが少年たちに**人
が死ぬことと生きるこ
とを真摯に捉えさせて
いきます**。是非、サイト
の特集もご覧ください。



夏の庭(湯本香樹美)
福武書店 1992年
徳間書店 2001年

特集
ボーイ・ミーツ・
オールドボーイ



紙版「ハコブネ×ブックス」vol.6

2019年11月1日発行 ●発行人 きむらともお

事務系会社員。趣味で児童文学紹介サイト **ハコブネ×ブックス**
(非営利)を運営しています。日本児童文学者協会第6回児童
文学評論新人賞佳作他、諸々を受賞。



Twitter
連携して
います。

© tomoostretch

特集

ボーイ・ミーツ・オールドボーイ

年をとっているからといって**老けこ
んで**いるとはかぎりません。老いてな
お、**少年のような好奇心と熱意に満ち**
それでいて**賢明で思慮深い**お年寄りが
いるものです。一方で、現役の少年は
日々の現実や悩みごとに追われ、夢を失
いがち。そんな**少年と老人とが出会い**、
心憎いドラマが展開するのも児童文学
の魅力です。**ボーイ・ミーツ・オールド
ボーイ**。少年が出会った、かつての少年
は、これまで知らなかった新しい世界
少年に見せて、これからの人生を照らし
てくれます。しかし、その出会いは、ま
だ人生をはじめたばかりの少年と、終わ
りに近づきつつある老人との時間が、**偶
然に重なった奇跡の瞬間**でもあるので
す。過去からきた少年は、現在の少年に
未来を見せて去っていきます。物語につ
なぎとめられた、尊い幸福な時間。いつ
しか大人になった少年の回想の中で語
られる、**かつての少年のスピリット**を、
是非、憶えていて欲しいのです。



昔はおれと同年だった 田中さんとの友情

作者 柳月美智子
出版社 小峰書店
発行 2019年8月
ISBN 978-4338308052

review



神社の境内でスケートボードで
遊んでいた三人の少年たち。**神社の
管理人の田中さん**に見つかった叱
られると思いきや、田中さんはスケ
ートボードに興味を示します。とは
いえ八十代の田中さんは、早速、転
んで怪我をしてみまい、三人が生活
の面倒を見ることに。クラスでも目
立つことのない、しらけチームの三
人は、自分たちの話を楽しく聞
いてくれる田中さんを大好きにな
り、喜んでおもうと懸命になりま
す。田中さんの少年時代の話を聞
き、**自分たちと同じ年の時に戦争で
家族全員を失い、ずっと一人で生き
てきた**人生に少年たちは衝撃を受
けます。その戦争体験を自分たちの
小学校で講演してもらおうと考え
た三人は、今までのキャラをかなぐ
り捨てて、奔走しはじめます。盛り
上がる少年たちの**一夏の興奮と、裏
腹にある哀感**が切ない物語です。

ミスターオレンジ

Mister Orange.

作者 トウルース・マティ
翻訳者 野坂悦子
出版社 朔北社
発行 2016年9月
ISBN 978-4860851248

review



第二次世界大戦下のニューヨ
ーク。出征した兄に代わって家業の
八百屋の配達を手伝う少年ライナ
スは、**いつもオレンジを注文する
ひとりの画家と親しく**なります。
ウキウキと踊っているような赤、
青、黄の原色の四角形がいたると
ころに描かれている画家のアトリ
エ。ライナスが**ミスターオレンジ**
と呼ぶ画家こそ、前衛的な作風で
知られるピエト・モンドリアンで
した。ナチスに弾圧され、欧州から
ニューヨークに逃れてきた老齢の
画家は、戦地の兄を思い心配する
ライナスに、**想像力の大切さと、自
由のために絵を描き戦っていくこ
とを**教えてくれました。彼が描く
強い色彩は少年の未来を明るく照
らし、希望が生まれます。やがてく
る**ミスターオレンジとの大切な時
間の終わりは、少年自身の物語の
はじまりとなるのです**。